

スイッチ クラスタリング技術を実装するためのシステム要件

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[スイッチ要件](#)

[Catalyst 3500 XL](#)

[Catalyst 2900 XL \(8 MB \)](#)

[Catalyst 2900 XL \(4 MB \)](#)

[Catalyst 2955/2950](#)

[Catalyst 2970](#)

[Catalyst 3550](#)

[Catalyst 3560](#)

[Catalyst 3750](#)

[Catalyst 4500](#)

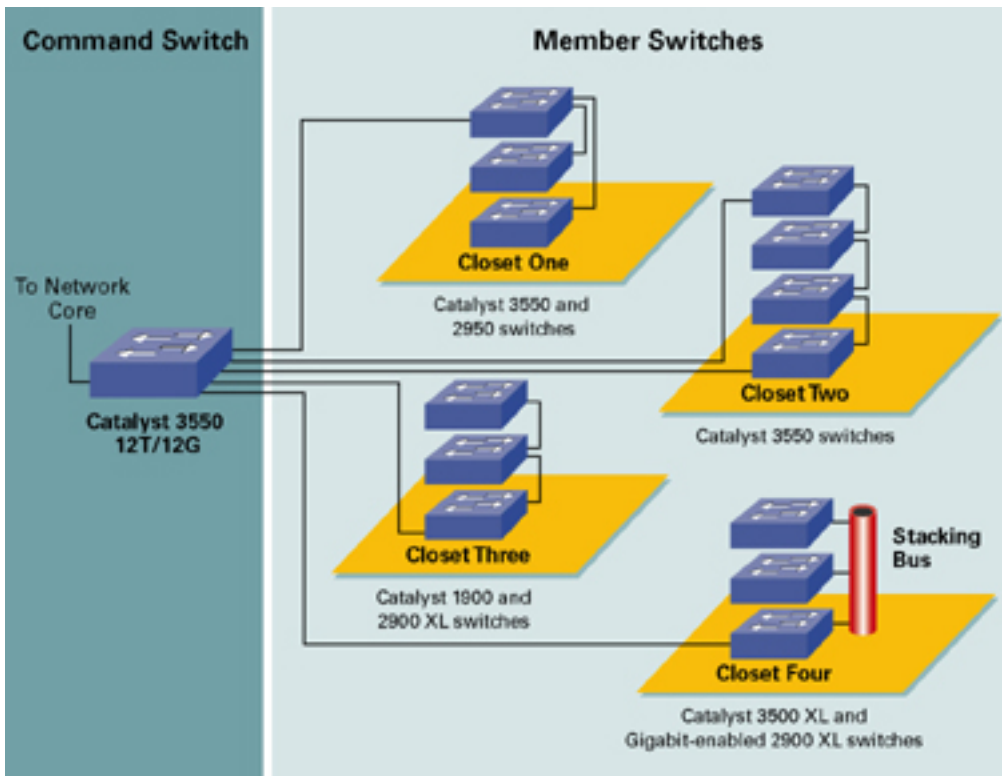
[Catalyst 1900/2820](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco スイッチ クラスタリング技術は、すべての Catalyst 3500 XL、2900 XL、2955/2950、2970、3550、3560、3750、4500、および Catalyst 1900/2820 スタンダードおよびエンタープライズ エディション スイッチで使用できるソフトウェア機能のセットです。スイッチ クラスタリング技術によって、単一の IP アドレスで最大 16 台のスイッチを同時に管理することができます。冗長構成用に、IP アドレスを 2 つ目のスイッチに割り当て、クラスタ全体を 1 つの仮想 IP アドレスを使用して管理できます。一次コマンドスイッチに障害が発生した場合、バックアップコマンドスイッチまたは二次コマンドスイッチがクラスタの管理をシームレスに引き継ぎます。ユーザは、引き継ぎの間も仮想 IP アドレス経由でクラスタにアクセスできます。

次の図は、シスコのスイッチ クラスタの例です。



クラスタ内のスイッチは、次のいずれかの役割によって分類されます。

- コマンドスイッチ
- メンバスイッチ
- 候補スイッチ

各クラスタには、コマンドスイッチと呼ばれるマスタースイッチが1つあります。その他のスイッチは、メンバスイッチとして機能します。コマンドスイッチは、クラスタ全体を管理する最も重要なインターフェイスを提供し、一般的にはスイッチクラスタ内の唯一のスイッチであり、1つのIPアドレスが設定されています。各管理要求は、まずコマンドスイッチに送られた後に、適切なメンバスイッチにリダイレクトされます。

通常、メンバスイッチにはIPアドレスが設定されていません。メンバスイッチはコマンドスイッチからリダイレクトされた管理コマンドを受信します。

候補スイッチは、メンバスイッチとしてスイッチクラスタに追加できるスイッチです。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、「[スイッチ要件](#)」および特定のスイッチの項に記載されているソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してくだ

さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

スイッチ要件

このドキュメントの各項では、次に示すプラットフォームにスイッチ クラスタリング技術を実装する場合のシステム要件について説明します。

クラスタリング機能を使用するには、Catalyst 2900 XL、3500 XL、2950/2955、2970、3550、3560、3750 または 4500 ソフトウェアのクラスタ対応バージョンをインストールします。

Catalyst 3500 シリーズ XL スイッチはすべて、コマンド スイッチとして使用できます。8 MB Catalyst 2900 シリーズ XL スイッチは、コマンド スイッチとして機能するようにアップグレードできます。4 MB Catalyst 2900 シリーズ XL スイッチはコマンド スイッチにアップグレードできません。Cisco IOS® ソフトウェア リリース 11.2(8.x)SA6 Original エディションのソフトウェアを実行している場合にのみ、クラスタ メンバーとして機能することができます。Cisco IOS ソフトウェア リリース 11.2 (8.x)SA6 以降のバージョンを実行している Catalyst 2900 XL または 3500 XL は、スイッチ クラスタ内のメンバーとして使用できます。

注: Catalyst 2900 XL スイッチの DRAM が 4 MB または 8 MB のいずれであるか、およびソフトウェアのアップグレードが必要かどうかを確認するには、ユーザ レベルで `show version` コマンドを発行します。詳細については、『[Catalyst 2900 XL/3500 XL のリリース ノート](#)』を参照してください。

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(5)WC(1) 以降を実行している Catalyst 2950 シリーズ スイッチは、コマンド スイッチまたはメンバー スイッチとして使用できます。

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(4)EA1 以降を実行している Catalyst 3550 シリーズ スイッチは、コマンド スイッチまたはメンバー スイッチとして使用できます。

Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(20)EWA 以降を実行している Catalyst 4500 シリーズ スイッチは、コマンド スイッチまたは Network Assistant アプリケーションを使用するメンバー スイッチとして使用できます。

ファームウェア バージョン 9.00.00 (-A および -EN のみ) を実行する Catalyst 1900 or 28xx スイッチは、メンバー スイッチとして使用できますが、コマンド スイッチとしては使用できません。

注: (-A) はソフトウェアのスタンダード エディションを表し、(-EN) はエンタープライズ エディションを表します。

クラスタを作成する前に、どのスイッチがクラスタに対応しているかと、スイッチがコマンド スイッチとして機能できるかどうかを確認する必要があります。スイッチがクラスタ メンバーまたはコマンド スイッチとして使用可能かどうかを確認するには、次の表を参照してください。

- Catalyst 3500 XL スイッチについては、[表 1](#) を参照してください。
- 8 MB Catalyst 2900 XL スイッチについては、[表 2](#) を参照してください。
- 4 MB Catalyst 2900 XL スイッチについては、[表 3](#) を参照してください。

- Catalyst 2955/2950 スイッチについては、[表 4](#) を参照してください。
- Catalyst 2970 スイッチについては、[表 5](#) を参照してください。
- Catalyst 3550 スイッチについては、[表 6](#) を参照してください。
- Catalyst 3560 スイッチについては、[表 7](#) を参照してください。
- Catalyst 3750 スイッチについては、[表 8](#) を参照してください。
- Catalyst 4500 スイッチについては、[表 9](#) を参照してください。
- Catalyst 1900/2820 スイッチについては、[表 10](#) を参照してください。

Catalyst 3500 XL

表 1：クラスタ機能を持つ Catalyst 3500 XL スイッチ

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェアリリースの最低要件	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェアリリース	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能
WS-3508G-XL	8 ギガビットイーサネットポート	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-3512XL	12 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 ギガビットイーサネットポート	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-C3524-XL	24 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 ギガビットイーサネットポート	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-3548-XL	48 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 ギガビットイーサネットポート	12.0(5)XP (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-3524-PWR-XL	24 個の自動検知	12.0(5)XU	12.0(5)WC(1) 以降	○	○

	10/100 インライン電源イーサネットポートおよび2ギガビットイーサネットポート				
--	---	--	--	--	--

注: (-A) はソフトウェアのスタンダード エディションを表し、(-EN) はエンタープライズ エディションを表します。Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(5)XU では、スタンダード エディションとエンタープライズ エディションの機能が1つのリリースに統合されています。

Catalyst 2900 XL (8 MB)

表 2-8 MB

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェア リリースの最低要件	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェア リリース	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能
WS-C2912-XL	12 個の自動検知 10/100 ポート	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-C2924M-XL	24 個の自動検知 10/100 ポートおよび2 個の拡張スロット	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-C2924-XL	24 個の自動検知 10/100 ポート	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-C2924C-XL	22 個の自動検知 10/100 ポートおよび2 個の 100BaseFX ポート	11.2(8)SA6 (-A) または (-EN)	12.0(5)WC(1) 以降	○	○
WS-	12 個の	11.2(8)SA	12.0(5)W	○	○

C2912MF-XL	100BaseFX ポートおよび 2 個の拡張スロット	6 (-EN だけ)	C(1) 以降		
WS-C2924M-XL-DC	24 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 個の拡張スロット	12.0(5)XU	12.0(5)W C(1) 以降	○	○

注: (-A) はソフトウェアのスタンダード エディションを表し、(-EN) はエンタープライズ エディションを表します。Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(5)XU では、スタンダード エディションとエンタープライズ エディションの機能が 1 つのリリースに統合されています。

Catalyst 2900 XL (4 MB)

表 3 - 4 MB

スイッチモデル	説明	クラスタリング サポートのための Cisco IOS ソフトウェア リリースの最低要件	クラスタリング サポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェア リリース	メンバ スイッチとしての機能	コマンド スイッチとしての機能
WS-C2908-XL	8 個の自動検知 10/100 ポート	11.2(8)SA 6 (Original Edition)	これ以上のアップグレードは不可。	○	なし
WS-C2916M-XL	16 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 個の拡張スロット	11.2(8)SA 6 (Original Edition)	これ以上のアップグレードは不可。	○	なし
WS-C2924-XL	24 個の自動検知 10/100 ポート	11.2(8)SA 6 (Original Edition)	これ以上のアップグレードは不可。	○	なし
WS-C2924C-XL	22 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 個の 100BaseF	11.2(8)SA 6 (Original Edition)	これ以上のアップグレードは不可。	○	なし

	Xポート				
--	------	--	--	--	--

Catalyst 2955/2950

表 4 : クラスタ機能を持つ [Catalyst 2955/2950 スイッチ](#)

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェアリリースの最低要件	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェアリリース	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能
WS-C2950-12	12 個の自動検知 10/100 ポート	12.0(5)W C(1)	12.1(22)E A2 以降	○	○
WS-C2950-24	24 個の自動検知 10/100 ポート	12.0(5)W C(1)	12.1(22)E A2 以降	○	○
WS-C2950C-24	24 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 個の 100BaseFX ポート	12.0(5)W C(1)	12.1(22)E A2 以降	○	○
WS-C2950T-24	24 個の自動検知 10/100 ポートおよび 2 個の自動検知 10/100/1000 ポート	12.0(5)W C(1)	12.1(22)E A2 以降	○	○
Catalyst 2955 スイッチ (すべてのモデル)	(状況に応じて異なる)	12.0(5)W C(1)	12.1(22)E A2 以降	○	○

Catalyst 2970

表 5 : クラスタ機能を持つ [Catalyst 2970 スイッチ](#)

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートの	クラスタリングサポートの	メンバスイ	コマンドスイ

		ための Cisco IOS ソフトウェアリリースの最低要件	ための現在の Cisco IOS ソフトウェアリリース	ツチとしての機能	ツチとしての機能
Catalyst 2970 スイッチ (すべてのモデル)	(状況に応じて異なる)	12.1(4)EA1	12.2(25)S EA 以降	○	○

[Catalyst 3550](#)

表 6: クラスタ機能を持つ [Catalyst 3550 スイッチ](#)

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェアリリースの最低要件	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェアリリース	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能
WS-C3550-12T	10 個の自動検知 10/100/1000 ポートおよび 2 個の GBIC* ベースのギガビットモジュールスロット	12.1(4)EA1	12.2(25)S E 以降	○	○

注: * GBIC はギガビット インターフェイス コンバータを意味します。

[Catalyst 3560](#)

表 7: クラスタ機能を持つ [Catalyst 3560 スイッチ](#)

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェアリリース	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェア	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能

		一スの最低要件	エアリリース		
Catalyst 3560 スイッチ (すべてのモデル)	(状況に応じて異なる)	12.1(19)E A1 以降	12.2(25)S EA 以降	○	○

[Catalyst 3750](#)

表 8: クラスタ機能を持つ [Catalyst 3750 スイッチ](#)

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェアリリースの最低要件	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェアリリース	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能
Catalyst 3750 スイッチ (すべてのモデル)	(状況に応じて異なる)	12.1(11)A X 以降	12.2(25)S EA 以降	○	○

[Catalyst 4500](#)

表 9: クラスタ機能を持つ [Catalyst 4500 スイッチ](#)

スイッチモデル	説明	クラスタリングサポートのための Cisco IOS ソフトウェアリリースの最低要件	クラスタリングサポートのための現在の Cisco IOS ソフトウェアリリース	メンバスイッチとしての機能	コマンドスイッチとしての機能
Catalyst 4500 スイッチ (すべてのモデル)	(状況に応じて異なる)	12.2(20)E WA 以降	12.2(31)S G 以降	○	○

注: ご使用のスイッチ クラスタに Catalyst 4500 シリーズ スイッチが含まれている場合、クラスタ コマンド スイッチも Catalyst 4500 シリーズ スイッチにする必要があります。

[Catalyst 1900/2820](#)

表 10：メンバー スイッチ機能のある [Catalyst 1900](#) および [2820](#) スイッチ

スイッチ モデル	説明	クラスタリング サポートのためのファームウェアバージョンの最低要件	メンバー スイッチとしての機能	コマンド スイッチとしての機能
Catalyst 1900 スイッチ (すべてのモデル)*	(状況に応じて異なる)	9.00 (-A) または (-EN)	○	なし
Catalyst 2820 スイッチ (すべてのモデル)*	(状況に応じて異なる)	9.00 (-A) または (-EN)	○	なし

注意：*3500 XL/8 MB 2900 XL では、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(5)XP 以降を実行する必要があります。*コマンド スイッチ (2950) では、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(5)WC(1) 以降を実行する必要があります。*コマンド スイッチ (3550) では、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.1(4)EA1 以降を実行する必要があります。

注意：クラスタに複数の Catalyst スイッチが混在している場合、Catalyst 3550 スイッチだけをコマンド スイッチとして使用することをお勧めします。

Catalyst 1900 および 2820 スイッチを使用する場合、これらのスイッチはファームウェア バージョン 9.00 (Standard エディションまたは Enterprise エディション) を実行している必要があります。これらのスイッチはコマンド スイッチとして機能しません。詳細については、『[Catalyst 1900 および Catalyst 2820 シリーズ スイッチ バージョン 9.00 リリース ノート](#)』を参照してください。

関連情報

- [LAN 製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)